

令和元年度 事務事業総点検シート(1)
[平成30年度事務事業]

一般会計		事務事業分類		詳細点検	
事務事業名 感染症予防対策		シート番号		A 一般事務事業	
担当部署名 健康福祉 局 健康部 保健所 部 感染症対策 課		評価責任者(課長名)		中井	

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	1	暮らしの確かな安全・安心を確保します	後期実施計画の位置付け
			施策	1	市民の命を守る健康・医療体制の強化	無
	2	事業開始年度	平成 11 年度		終了(予定)年度	— 年度
	3	根拠法令等(法令、条例、規則、要綱等)	感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律			
	4	関連計画				
5	事業実施の経緯	「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」(以下、「感染症法」という。)に基づき、肝炎ウイルス検査等の国の感染症対策を始め、感染症による市民への健康被害及び感染症のまん延を防止するため、必要な措置を講じる必要がある。				

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体(誰が実施しているのか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 本庁 <input checked="" type="checkbox"/> 各区 <input type="checkbox"/> 出先機関 () <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他 ()			
	7	事業の対象(誰を、何を対象としているのか)	全市民			
	8	事業の目的(どのような状況にしたいのか)	様々な感染症に対し、その感染力や健康被害への影響を勘案し、疫学調査、入院措置及び就業制限等を行うことで市民の健康を守るとともに、感染の拡大を防止する。また、保育所、学校及び老人福祉施設等に対して、感染症予防の指導啓発等を行うことにより、施設内の集団感染を防止し、脆弱な子どもや高齢者の健康維持を図る。			
	9	事業内容(スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	・1～5類等の感染症が発生した場合、必要に応じ患者への疫学調査、入院措置、就業制限、接触者の健康観察等を行うことで感染拡大を防止する。 ・ウイルス性肝炎の早期発見のため、各保健センター及び協力医療機関において肝炎ウイルス検査を実施するとともに、陽性者を早期治療につなげるためのフォローアップ事業を実施する。 ・市民および市内集団施設に対し、感染症予防のための知識の普及及び指導を行う。 ・性感染症について、各保健センターや保健所(サンスクエア堺)での検査及び啓発事業を実施する。			
10	直接実施以外の主な支出先	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 () 一般社団法人 堺市医師会ほか				

Ⅲ. 投入量

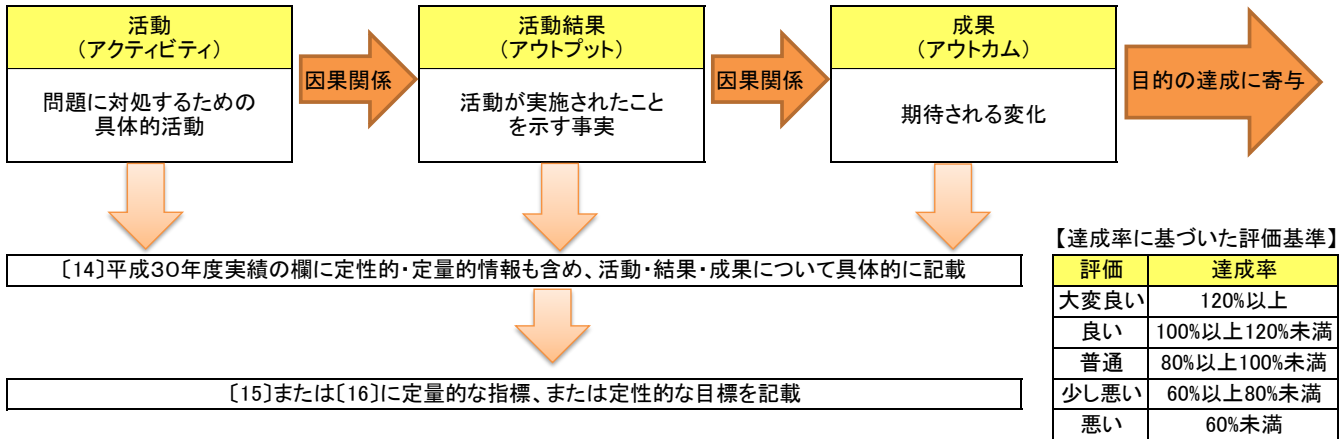
項目	単位	H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	R1年度予算	
11 事業費 (a)	千円	46,660	39,779	42,652	47,435	
主な事業費内訳	委託料	千円	44,047	36,862	39,124	35,312
	その他(需用費等)	千円	2,613	2,917	3,528	12,123
		千円				
		千円				
財源内訳	国・府支出金	千円	33,361	19,200	26,426	28,235
	受益者負担金(使用料、手数料等)	千円				
	市債	千円				
	その他()	千円				
一般財源	千円	13,299	20,579	16,226	19,200	
12 人件費 (b)	千円	13,530	18,040	18,860	22,380	
13 総コスト(c)=(a)+(b)	千円	60,190	57,819	61,512	69,815	

令和元年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	感染症予防対策	シート番号	11-229
-------	---------	-------	--------

≪Ⅳ. 評価(測定・分析)≫

ロジックモデルの考え方



【達成率に基づいた評価基準】

評価	達成率
大変良い	120%以上
良い	100%以上120%未満
普通	80%以上100%未満
少し悪い	60%以上80%未満
悪い	60%未満

事業の活動内容や成果

平成30年度実績								
活動実績と成果	<p>14</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1～5類感染症の発生時には、必要に応じ疫学調査、入院措置、就業制限を行い、患者や患者の属する集団に対し、感染拡大防止の指導を行った。疫学調査の結果、感染症患者と接触があったと判明した健康観察対象者からの感染拡大はなかった。 ・感染症媒介蚊の調査を市内10カ所で実施し、すべて陰性であった。 ・肝炎ウイルス検査の受検者数は、5,894名であった。また、検査の結果陽性であり、精密検査結果通知の報告がない等、その後の早期治療につながっていない可能性がある受検者計47名については、個別に状況確認や受診勧奨を行った。 ・保育所、学校及び老人福祉施設等の集団生活を行う施設より感染症等発生時報告書を計116件受け付け、集団発生が認められる際には感染拡大防止のための知識の普及及び指導を行った。 ・市役所内でも肝炎ウイルス予防、性感染症予防等の展示啓発を行った。 ・市民に対しては、各保健センターにて、月1回性感染症検査相談事業を行い、早期発見・早期治療・情報提供の機会とした。また、2か月毎の夜間HIV検査に、平成30年度より梅毒検査を導入し、61名の受検があった。 							
	15	指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
		疫学調査実施率	%	目標値	100	100	100	100
				実績値	100	100	100	100
				達成率	100%	100%	100%	100%
	評価			良い	良い	良い	良い	
	算出方法・設定根拠など		1, 2, 3類感染症, 麻しん, 風しんが発生した場合、疫学調査を実施し、感染拡大防止に努める。					
	16	指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
		肝炎ウイルス検査受検者数	人	目標値	7,165	6,626	5,644	5,894
				実績値	6,626	5,644	5,894	5,894
				達成率	92%	85%	104%	104%
	評価			普通	普通	良い	良い	
	算出方法・設定根拠など		保健センターおよび実施協力医療機関において実施した肝炎ウイルス検査の受検者数					

業績の分析

17	目標を達成できた、または達成できなかった要因についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析)
<ul style="list-style-type: none"> ・感染症法に基づく疫学調査実施率は100%であり、患者及び接触者への健康診断・就業制限などを迅速かつ的確に実施できた。市内医療機関からの発生届又は他市からの依頼を受けた場合、調査必要の有無を判断するとともに必要な調査を始める体制ができていた。 ・肝炎ウイルス検査受検者数は前年度に比べ微増した。広報さかい、堺市ホームページ及びがん検診パンフレット等で行っている広報が受検者数の増加につながった可能性があり、今後も引き続き、啓発を強化していく必要がある。 ・その他、感染症の発生情報等を的確に収集し、市民等に提供できたことなどにより、感染拡大を防止することができた。 	

【分析のチェックポイント】

- 事業の達成度はどうでしたか。
- 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありませんでしたか。
- 資源投入は適切でしたか。
- 事前想定できない外的要因の影響はありませんでしたか。
- 事業の有効性は高いですか。低いですか。